

# 真行草

平成28年度  
11月発行

第9号

編集・発行 浜松医科大学弓道部 OBOG 係 hamai\_kyudo\_ob@yahoo.co.jp

毎年1回発行

浜松医科大学弓道部 ホームページアドレス

<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>

## 西看大初優勝!!!

## 全医体優勝奪還!!!



平成28年8月24日 西看大

友がみな 我よりえらく見ゆる日よ

弓道部 師範代 佐藤清昭

最近読んだある小説に、石川啄木（たくぼく、1886-1912）の短歌が出てきました。

何か一つ 大いなる悪事しておいて

知らぬ顔してみたき 気持ちかな

皆さんどうですか？ こんな気持ちになったことはありますか？ ちょっとした「いたづらをしてやりたい」ともとれるし、「世の巨悪」に対する「抵抗」ともとれます。同じ本にもう一つやはり啄木の歌が載っていました。

小学の 首席を我と争ひし

友のいとなむ 木賃宿かな

その友と啄木は、首席を争う神童だったのでしょうか。しかし今は貧しい歌人と田舎の安宿の亭主。人生とはわからないものだし、そして何が幸・不幸であるかも、人さまざまです。

啄木と言えば、私は次の歌が好きです（うろ覚えなので、字句は少々違うかもしれませんが）：

友がみな 我よりえらく見ゆる日よ

花を買ひ来て 妻と親しむ

そう、「友」に限らず、「人」がみな「我よりえらく見ゆる」時というのはあるものです。私にもありましたし、今でもあります。そんな時に、ふと店先に見つけた花を買ってきて、その花を妻とともに喜ぶ……。でも数日もすると、そして「精進の裏づけ」があれば、そんな風に感じたことが不思議に思えて来もします。

しかし短歌で強烈な印象を与えてくれるのは、なんと言っても与謝野晶子（よさのあきこ、1878-1942）です。先日、ある蕎麦屋さんで読んだ週刊誌に次のような歌を見つけました：

女より 智慧（ちえ）ありといふ男達

この戦ひを やめぬ賢こさ

ここで言っている「戦ひ」というのは第1次世界大戦のことだそうです。男たちは常日頃、男は女より知恵

があると言っているが、この戦争をやめることさえできないではないかという「皮肉」であり、（彼女の有名な「君死にたまふことなかれ」と同様の）強烈な「反戦歌」です。安倍晋三首相も、たまには立ち止まって、こういう歌を味わってみてはどうか、と思ったりします。



西日本看護学生弓道選手権大会の様子

弓道部部長挨拶

弓道部顧問 三澤清先生（平成6年度卒）

佐藤清昭先生から部長を引き継いで3年目となりました。3月の追い出しコンパ、4月に新歓コンパ、7月の山梨大戦、8月の全医体主管のお手伝いをしたのが今年の主な活動でした。なかなか、大学に勤務していても学生との時間を十分にとることができないのが悩みですが、3年間のお付き合いで6年生は全員把握できるようになりました。ただ瞬発的な記憶呼び出し能力の低下が著しく、出身高校がうかんでも苗字がでてこないこともあり困りますが、楽しく部長をさせていただいています。

今年の弓道部の活動は、OBOG 総会開催に始まり、東海医歯薬、中部ブロック、東国体、西医体が例年の活躍ほどの成績ではありませんでした。しかし若手の成長を感じるよい成績でした。今年はそういう年で、また来年に期待と思っていたところに、西看大初優勝という快挙の知らせが届きました。正直、一昨年の西看大主管での印象から、優勝はしばらく先のことかなと全く予想できませんでした。その西看大初優勝の勢いをもらい全医体でも優勝し、よいシーズンの締めくくりとなりました。全医体5年連続出場でかつ4回の優勝は、大変立派な成績だと思います。最後の立の4本目の通し矢での逆転優勝は圧巻でした。たくさんのOB・OG皆様の応援もいただき感謝しております。来年は秋田での全医体出場も確定しています。ぜひ若手のOB・OGは応援に行っておいてください。

今年1年間、杉浦主将や幹部の方といろいろな意見交換をすることができました。大きな事故もなく1年が終わることに大変感謝いたします。これからも吉田先生、佐藤先生のご指導のもと成長し続ける弓道部に期待しています。



全日本医科学学生体育大会王座決定戦の様子

## OBOG 会長挨拶

OBOG 会長 丸山哲史先生(平成8年度卒)

本年度から片桐伯真先生の後任として OBOG 会長となり、初めての寄稿となります。直接お会いしたことのない部員の方々もいるかと思しますので、まずは自己紹介をさせていただきます。

私は小中高と浜松で過ごし、平成3年4月に浜松医科大学へ入学しました。当時は弓道部発足直後のため学内に弓道場もありませんでしたが、顧問の佐藤先生や諸先輩方の尽力で、鹿谷にあった浜松市弓道場の弓道教室への参加や静岡大学工学部での合同練習など貴重な経験を得ることができました。その後、学内弓道場の整備が進み、部員も増えてこれから発展していくというところで卒業を迎えたわけですが、残念ながら卒後は業務に忙殺され約20年間も弓道から離れた生活となってしまいました。今回このような私にお声をかけていただいた片桐先生には感謝の言葉もございません。

さて久しぶりに弓道と向き合う事となったわけですが、そう思ってふと周りを見ると、今年の3月にゴディバジャパン社長のジェローム・シュシャン氏の著書「ターゲット」が発売され注目を浴びているようですね。シュシャン氏は約25年前から弓道を学んでいるようで、以前から国際弓道連盟の理事としても活躍されている方ですが、このたび自身のビジネス論と弓道精神との関わりを紹介する内容となっています。著書の中でも語られていますが、氏は特に「正射必中」という言葉を好んでいるようで、数年前のインタビューでもこう語っています。

There's idea "Seisha Hicchu," that, if you take the right process, the result will follow. To really meet the consumer's need, you have to make the product for consumers — that's the process, that's what I would call the right way, like right shooting. Sometimes people may think, to sell more products, just reduce the price or send products everywhere, anywhere. But I don't think it's the

right approach. The right approach is to really think of consumers and make a good product — then you will have a good result.

日本語訳で読むといろいろ思うところがありますが、フランス人らしい非常に明快な考え方はとても清々しい気分させられます。私事ですが、最近医師としてより経営者として苦勞する場面の方が多いため特に面白く感じました。皆さんもお時間があれば手にとって貰えればと思います。

自己紹介のはずが何となくとりとめのない話になってしまいましたが、これからも皆さんと一緒に浜松医科大学弓道部をより一層盛り上げていきたいと思しますので、どうかよろしく願い申し上げます。

---

#### OBOG 副会長挨拶

OBOG 副会長 芳澤社先生(平成 11 年度卒)

浜松医科大学を卒業して早 16 年が経ちました。現在は(も?) 聖隷浜松病院の消化器内科で勤務しています。卒業してからも浜松医大附属病院→浜松労災病院→聖隷浜松病院とずっと浜松で過ごし、浜松での生活は大学入学から 22 年が過ぎようとしています。

浜松にいるにもかかわらずなかなか弓道場に顔を出せずにいましたが、先日研修医時代の同期から子供の家庭教師をしてくれる人を探してほしいといわれ、そのような年になったのか・・・と思いながら、家庭教師をしてくれる人を探しに部内試合の最中によらせていただきました。そのときの現役の皆さんの楽しい風景を見ると、昔の弓道部時代の楽しかった思い出がよみがえり、昔と雰囲気は変わらないなぁと懐かしく拝見させていただきました。

私が弓道部に入った頃は、現在の弓道場の場所に先輩たちの手で作成した青空弓道場があり、足場にすのこを引いて毎日弓を引いていました。暗くなりが見

えなくなると部活が終了となりみんなで夕食を食べに行ったものでした。当時はそれほど強くはなく、遠征試合も半ば観光気分でしたが、非常に楽しい毎日でした。

今回寄稿を書くにあたり昔の部誌を見ていたところ、そのころ作られた第一号の部誌で先輩の町田先生が、「勝負を楽しむ」という内容で書かれていた内容を目にしました。その内容では当時強かった高知医科大学が西医体で優勝しても飛び上がって喜ぶ様子が見られず、優勝候補のチームというのうは喜ぶよりほっとしているのであって、試合そのものは我々の方が楽しんでいるのではないだろうか。勝ち負けにこだわりすぎると勝負の過程を楽しむという本来の目的を見失ってしまう。ただ「勝負を楽しむ」ことを本当に身につけることはなかなか難しいものだ。と書かれていました。

現在の弓道部は非常に強くなり、昔の私がいた頃とは試合での置かれている立場がだいぶ異なっているかと思えます。ただ、弓道を・部活を・試合を楽しむことが弓道部にとって大切なことで、現在もその伝統が続いていることを嬉しく思いました。

と取り留めもないことを書いてしまいましたが、弓道部での生活は医師として忙しくなった現在ではかけがえのない時間でありましたし、弓道部の仲間は社会人になってもかけがえのない財産であると感じています。またこれから医療人となる現役の方も、弓道部の OB・OG とのつながりは旨く(いい意味で)利用していただければと思います。

また OB・OG の方は、浜松にいらしたときには連絡ください。うちの子供も大好きな「さわやか」でげんこつハンバーグでも食べに行きましょう。

前主将挨拶

第 28 代主将 杉浦琢也(医学科 4 年)

秋晴れの心地よい季節となり、OB・OGの皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。浜松医科大学弓道部に、日頃より格別のご支援を賜り心より御礼申し上げます。昨年度 10 月より一年間主将を務めさせていただきました、杉浦琢也です。この一年を通じて、実に多くの方々に支えていただきながら主将という責務を果たすことができました。部員はもちろんのことですが、多くの OB・OG の皆様の支えがあつてのことだと思っております。特に、今年は全医体の主管を浜松市弓道場にて行った際に実に多くの OB・OG の方々に遠方よりご来場いただき、またご援助いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

一年間、この伝統ある部活において自分がどのような主将であるべきかということを探求してまいりました。部員数の多いこの部活にとって、部活全体として何を目指すべきか、そしてどれだけ多くの部員を巻き込んでいくことができるか、こうした課題が常に自分の頭の中にあつたように思います。

いろいろな局面で、様々な人からそれぞれの意見をいただきその度に組織を束ねることの難しさを痛感し、自分の未熟さを思い知りました。人それぞれ培われてきた価値観は大きく異なりますし、取り巻く環境も様々です。こうした中でも、部活というものが部員全員にとっての大切な居場所であり続けることこそが、部活というものの存在価値であり「強さ」というものはそこから生まれるのだと思います。私自身、この部活のために自分のできることは全力を尽くしてきましたつもりです。しかし、主将としての一年を終え振り返ってみると自分が支えてきたつもりが、逆に自分が本当に多くの方々に支えられてきたことに気が付きました。この役職を与えていただき、自分は大変な幸せ者であつたと思っております。繰り返しになりますが、支えてくださったすべての方々にお礼申し上げたい

と思います。本当にありがとうございました。

これからは私も引退部員として、浜松医科大学弓道部にささやかながら貢献できるように精進させていただきたいと思っております。乱文ではございますが、前主将挨拶とさせていただきます。OB・OG の皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。時節柄、くれぐれもご自愛下さい。



全日本医科学生体育大会王座決定戦の納射

前看護科主務挨拶

村上諒(看護学科 3 年)

紅葉の候、OB・OGの皆様におかれましては益々ご清祥の段、心よりお慶び申し上げます。昨年度 10 月より 1 年間看護科主務を務めました、村上諒と申します。

今年の西看大では、団体に悲願の優勝を勝ち取ることができました。これは各部員がひたむきに弓に向き合い練習に打ち込んだ努力の結果でもあると思っておりますが、それ以上に部員同士の雰囲気の良いところが勝利に影響していると実感しました。これまで先輩方が真摯に取り組んでくださった、各部員が部活動を楽しめる良い雰囲気づくりが私たちに伝わり、その結果として「勝利」を勝ち取ることができたのだと思います。この部活全体の良い雰囲気の基盤を築いてくださっ

た OB・OG の先輩方なくしては、ここまで活躍することはできなかったでしょう。さらに皆様にはご卒業後にも多大なるご厚志をいただいております、心から御礼申し上げます。

次期看護科主務は、大畑美月が務めます。彼女は医学科・看護学科を問わず人望に溢れ、弓道へ真摯に取り組んでおり、十分看護学科を先導できる存在だと思います。来年の西看大では前年度優勝校の代表となり、追う立場から追われる立場になりますが、彼女も「勝つ」ということを目標としておりますので、今後とも引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

末筆ではありますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、前看護科主務挨拶とさせていただきます。1年間、本当にありがとうございました。



西日本看護学生弓道選手権大会の納射

新主将挨拶

第 29 代主将 鷲見健翔(医学科 3 年)

向寒の候、OB・OG の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素はひとかたならぬご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

10 月に幹部交代を行い主将に就任いたしました、医学科 3 年の鷲見健翔と申します。

浜松医科大学弓道部は、私が入部して以降ずっと強い部活であり続けています。昨年も西看大や全医体で

団体優勝をすることができました。この、強い部活であり続ける要因にはやはり、部員同士のつながりが大きいと思っています。特に OB・OG の皆さまが作ってきてくださった縦のつながりが伝統として弓道部に根付いていると感じています。皆で練習し全員で試合に臨み、また、一緒に練習して食事に行ったりコンパがあったりと、そういったこと一つ一つがつながりを深め結束を強くしているのではないかと思います。

近年は部員の増加に伴い、部の雰囲気は少しずつ変わってきているように思いますが、どんなに部員が増えても、部員同士のつながりを大切に、弓を通してつながる弓道部でありたいと思います。私自身も先輩方に丁寧に指導していただき弓の楽しさを知ることができました。これからは自分が後輩に弓の楽しさを伝えていきたいと思っております。

なにぶんにも身に余る重責ではございますが、全身全霊で努めていく所存であります。今後とも一層のご懇情、ご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

新看護科主務挨拶

大畑美月(看護学科 2 年)

晩秋の候、OB・OG の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

10 月より看護科主務を務めさせていただくことになりました、大畑美月と申します。

平素は浜松医科大学弓道部に格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。おかげさまで、今年度は初の西看大優勝という成績を収めることができました。これは部員の日々の努力に加え、皆様のお力添えのおかげと思っております。この場をお借りして心より御礼申し上げます。またこの経験を活かしていけるよう、これからも医学科とともに切磋琢磨し、一人ひとりが目標を持って練習に励むようにしていきたいと思っております。

今年は看護学科から一人の男子部員が入部しました。日々稽古に励み、西看大でも優勝に大きく貢献してくれました。

私は看護科主務として先輩方が築き上げてくださった伝統を引き継ぎ、全ての部員にとって居心地の良い部活の雰囲気を作ること、そして看護学科の更なる活躍を目標に一生懸命務めさせていただきます。未熟者で何かと至らぬ点多々あることと思いますが、どうぞ皆様のご指導ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、看護科主務の挨拶とさせていただきます。

### OB・OGの方々からご寄稿を頂きました！

東京都立多摩総合医療センター

角替麻里絵先生（平成 26 年度卒）

現役部員の皆さま、今年度も全医体・西看大をはじめ、数々の好成績おめでとうございます。OB・OGの皆さま、ご無沙汰しております。平成 26 年度医学科卒、東京都立多摩総合医療センターで初期研修中の角替麻里絵と申します。

自分が今所属している病院の研修医には、なぜか元弓道部員が多いです。就職先を選択する際にも大学入学後に部活を選択するのと同様、そこに集まる人々に惹かれるものがあったのだと思います。「ああ、あの強い浜松医大の弓道部？」といわれることが多いのは誠に嬉しい限りです。

働き始めてから実は一度も弓には触れてはおりません。しかし、就職して新しい世界に入ればきっと大学の部活の思い出など頭の隅に追いやられてしまうであろうと考えていた私ですが、想像していた以上に弓道部のことを思い出す機会が多いのです。

思えば高校時代までを文化部で過ごし、大学三年生の時までの場的の屋根の上に矢を飛ばしていた筋金入

りの不器用の私でも、練習によってそこそこ人並みの周囲に矢が飛ぶようになったことは、自分の中ではたいそうな自信になりました。仕事でプレッシャーを感じた時は、あの試合の前の緊張感に比べれば、と思いました。失敗して自信を無くしたときは、追い出しコンパで後輩たちからいただいた寄せ書きの的を眺めました。人の命を預かる医療の仕事と学生の部活動を重ねて考えるのもおかしな話ですが、それくらい当時の自分は必死に弓道をしていたのだと思います。

浜松医大弓道部も相変わらずの大所帯で、部活への関わり方は本当に人それぞれだと思います。一人でも多くの部員が自分の追い出しコンパで「なんだかんだ言って、楽しかった」と思えるような部活であるよう、今後も皆様のご活躍を心よりお祈りしております。

磐田市立総合病院

中井省吾先生（平成 27 年度卒）

清秋の候、OB・OGの皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成 27 年度卒業生の中井省吾と申します。現在、磐田市立総合病院研修医 1 年目として働いております。仕事面で至らないことが多く、反省してばかりですが、気のおけない同期や信頼できる先輩研修医や指導医の先生方に囲まれて楽しく日々を過ごしております。

さて、私の職場が浜松に近いこともあり、時々弓道部の道場でも弓を引かせていただいております。代替わりしてからほぼ 1 年が経ち、新入部員も増え、雰囲気も去年と違ったものとなってきていました。そういった変化を毎年繰り返しているわけですから、私が入部した頃と比べますと現在の部の環境も大分変わったな、と感慨深く思っております。

そんな浜松医科大学弓道部が、今年は西看大団体戦初優勝、全医体王座奪還という非常に喜ばしいビックニュースを報告してくれました。私も実際に浜医が主管した全医体の応援にいきましたが、的に向かう部員

の真剣な姿から在学中、全力で弓を引いていた頃の自分たちの記憶や、多くの先輩方の雄姿が思い起こされ、浜松医科大学弓道部の精神が後輩たちに受け継がれていることを実感しました。

それに加えて、看護学科の頑張りや活躍をプレッシャーにせず、全医体の主管や団体戦への追い風にすることができたのは、増えゆく部員の中で良い雰囲気を作ろうと頑張った在校生たちの努力があったからだと思います。

今年も代替わりの時期となりました。在学生たちは弓道部の伝統を守りながらも、そこに自分たちの色を重ねていくことで、より深みを帯びたものへと成長させていってくれることでしょうか。その中で部活や弓を楽しむ気持ちを忘れないでいてくれたら何よりです。

弓道部の更なる発展を祈願して私の挨拶とさせていただきます。OB・OGの皆さまには今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

東京大学医学部附属病院

和田泉先輩(平成27年度卒)

うだる夏の暑さも和らぎ、涼やかな秋風が吹く季節、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。平成27年度卒業生の和田泉です。必ずしも真摯に部活動に取り組んでいた訳ではない私に、会報誌への寄稿という大役をいただきましたことを、喜ばしくも恐縮にも思います。

さて、既に多くの方がご存知であることかとは思いますが、去る8月に行われた西看大、全医体の朗報について、この場をお借りしまして、再度心よりお祝い申し上げます。特に西看大優勝は、浜松医科大学弓道部始まって以来の初の快挙です。後輩たちの日々の努力と成長を喜ばしく思うと同時に、試合での緊張感や、その中でも思うように弓を引くことができたときの達成感が思い起こされ、郷愁で胸が熱く感じられるばかりでございます。

現役生の活躍に感化され、先日久方ぶりに弓を握ることとしました。帯を締めた時の少しばかりの窮屈さは、やはり馴染みのある感覚でした。相変わらず早気の癖は治っておらず、結果はさんざんなものではありましたが、改めて弓道の深甚さが身にしみて感じられました。

4月から社会人となり、一医療人として病院に勤める中で、実際に弓道と関わる機会はほとんどない現在ではありますが、こうして折りに触れて弓道の真善美の精神を感じることに、浜医弓道部の活躍の報せをいただくことを楽しみにしております。

末筆ではございますが、浜松医科大学弓道部の益々の発展と飛躍、皆様の各界でのご活躍を祈って、結びの言葉とさせていただきます。

今年度もOB・OGの方々からご寄稿を賜りました。お忙しい中、誠にありがとうございました。今年度に引き続き、来年度の会報誌にもぜひ、寄稿のご協力をお願い申し上げます。

## PDF ファイルについて

本年度もカラーページが多いため、より見やすいものを見ていただけるように、ホームページからダウンロードをできるように致しました。是非ご覧ください。

<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>から [アイテム] → [会報誌] にてご覧になれます。



## 近況報告(一年間の弓道部の様子と、部員から近況報告を掲載します)

OB・OGの皆様、平素よりご指導賜りまして誠にありがとうございます。今年の弓道部は試合での後輩部員の活躍も多く、将来が楽しみとなる一面を見ることができました。私自身は気がつけば学生最後の年で、部活に顔を出す機会が減ってしまいましたが、ときどき道場を訪ねると、部員が和気あいあいと一生懸命に練習に励んでいて元気づけられています。道場の雰囲気は入部当時と変わらず、後輩に引き継いでいきたいものです。これからも浜医弓道部をよろしくお願ひ申し上げます。

千森瑛子(医学科6年)



11月 医大祭 (上2枚)



11月 しゃちほこ杯



11月 東海医歯薬



12月 冬のうなぎ杯



↑12月 グラスカップ

↓1月 三十三間堂

新生活で不慣れなことが多い中、素晴らしい先輩方に出会い充実した半年を過ごすことができました。熱心なご指導のおかげで、大学生活で打ち込めるものを見つけられたと感じています。弓道部での出会いに感謝しています。この雰囲気がOB・OGの皆様から受け継がれたものであることに感謝を忘れず、今後も練習に励んでまいります。

山口藍 (医学科1年)

弓道部に入部して1年半が経ちました。ありがたいことに団体戦で弓を引かせていただく機会もあり、とても充実した時間を過ごしています。こうした充実した時間が過ごせるのも、OB・OGの皆さまのおかげです。今後も練習に精進してまいりたいと思います。引き続き、ご支援のほどよろしくお願ひします。

川崎七海 (医学科2年)





2月 第3回 OBOG 総会

早いもので、10月をもって私は引退生となりました。楽しく忙しい時間ほど早く過ぎ去るものとは言いますが、現役生として過ごした時間は私にとって大変貴重なものでした。また幹部学年生として仕事をこなす中で、OB・OGの方々のご支援の有難さを改めて痛感致しました。ありがとうございます。今後は一引退生として、頂いた恩を返していけたらと思っております。

石川絵理 (看護学科3年)



↑3月 春季県下

弓道部に入部して、1年と半年が経ち、ありがたいことに今年は西医体、全医体で団体で引くことができ、とてもよい経験ができました。弓道部でこのような経験ができるのはご指導をしてくださる先輩方、現在の弓道部の雰囲気を作ってください、多大なご支援をしてくださるOB・OGの方々のおかげだと日々感じております。今後は、先輩として後輩を指導する立場になるので、この雰囲気を後輩にも残せるよう努力していきたいと思っております。

多々納拓弥 (医学科2年)

3月 メモリーカップ→



↑3月 追いコン

↓3月 卒業式

幹部学年として過ごしたこの1年間、なかなか思うようにいかず悔しい結果になることが多くありました。この経験を活かしてこれからの弓道部に貢献していきたいと感じております。応援してくださったOB・OGの方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

岩瀬千郷 (医学科4年)

最終学年ながら多くの試合を団体で引かせていただき、この一年はとても幸せでした。後輩と共に試合に出る喜びは格別で、全医体での優勝は一生の思い出です。こうした結果もOB・OGの皆様に作っていただいた部の伝統やご支援に尽き、本当に感謝しております。私は卒業となりますが、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

石川駿 (医学科6年)





5月 新歓遠足



6月 東国体



6月 中部ブロック



↑6月 山梨大学交流戦

6月 夏のうなぎ杯→

今年の夏のうなぎ杯は、吉田千代子先生の八段昇段のお祝い射会として、和気藹々とした雰囲気ですべての試合を行いました!!

10月から幹部学年という立場になりました。後輩から学ぶことも多い毎日ですが、少しでも多くのことを教えていきたいと思えます。また、これまでの団体戦では思うような結果が残せなかったため、先輩方からのご指導、OB・OGの皆様のご支援に応えられるようにこれから1年間尽力させていただきます。

上利裕子 (医学科3年)

今年度は主管を務めた全医体の優勝、西看大の優勝と後輩たちが素晴らしい成績を収め、一弓道部員として誇らしく思っております。現在弓道部が強い部活として成長してこられたのも先輩方のご指導やご支援のお陰だと思えます。学生としての時間は残り少ないですが勉強も弓道にも精進してまいります。

根本玲那 (医学科6年)

OB・OGの皆様、いつもご支援ありがとうございます。大会や行事ごとに応援に駆けつけてくださったり、結果報告を楽しみに待っていてくださったりする先輩方にいつも感謝の気持ちと弓道部の繋がりの強さを実感します。この繋がりを下の世代にも引き継げるよう、これからも努力を重ねていきたいと思えます。

下村麻衣子 (医学科5年)

この半年間浜医弓道部員として弓を引かせていただき、様々のことを先輩方から学ばせていただきました。OB・OGの皆様が培ってくださったこの弓道部の雰囲気の中で弓を引くのはとても楽しいことで、毎日練習しているうちに西看大の団体戦で優勝することができました。これからも弓道に精一杯励み、日々精進していこうと思えます。

金子虎太郎 (看護学科1年)





← 7月 夏季県下

OB・OGの皆様、平素より多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年、全医体、西看大で優勝という成績が残せたのはOB・OGの皆様のご支援と部員一同の日頃の努力の成果、共にあってのことだと考えています。これからも、弓道部の部員として少しでも弓道部に貢献できるよう努めてまいりたいと存じます。

松村健太 (医学科 5年)



↑ 7月 BBQ



8月 西医体

OB・OGの皆様、日頃よりご支援いただきまして、心から感謝いたしております。

弓道部に入ってから4年目、最後の年となりました。今年は西看大の団体戦において優勝を飾ったり、全医体の団体戦の優勝を飾ったりととても嬉しいことがありました。弓道部員として過ごすのも残り僅かではありますが、弓道部員同士のつながりを大切にしていきたいと思っております。

秋場千布 (看護学科 4年)



8月 西看大



8月 全医体

福井県で行われた西看大では初優勝を飾り、勢いそのままに、主管を務めた全医体でも優勝を奪還しました!!



10月 幹部交代コンパ

私が弓道部に入部してから早一年半が経ちました。今年は初めての後輩ができ、嬉しく思うとともに一年生の頃とは違い責任感をもって行動しなければと日々痛感しております。OB・OGの方々方が築き上げ応援してくださっている弓道部に所属できていることに感謝しつつ今後も精進してまいります。

杉本礼那 (看護学科 2年)

—試合結果(2015.10~2016.9)—

東海医歯薬学生弓道大会 (15. 11. 22~23)

【団体戦】

男子団体 第3位

女子団体 A 準優勝

【女子個人戦】

木根佑奈 (医学科 4年) 第4位

静岡県下学生弓道選手権春季大会 (16. 3. 6)

【団体戦】

男子団体 B 準優勝

男子団体 G 第3位

女子団体 H 第3位

【男子個人戦】

鈴木蓮 (医学科 1年) 第3位

【女子個人戦】

川崎七海 (医学科 1年) 準優勝

市川めぐみ (看護学科 1年) 第4位

鈴木亜佑実 (看護学科 3年) 第5位

東海地区国立大学体育大会 (16. 6. 11~12)

残念ながら、団体戦・個人戦ともに入賞者はいませんでした。

中部ブロック医科学生弓道大会 (16. 6. 18~19)

【団体戦】

男子団体 準優勝

女子団体 B 準優勝

【女子個人戦】

上利裕子 (医学科 3年) 準優勝

静岡県下学生弓道選手権夏季大会 (16. 7. 17)

【団体戦】

男子団体 B 準優勝

男子団体 C 第3位

【男子個人戦】

野島悠有 (医学科 6年) 第5位

【女子個人戦】

大畑美月 (看護学科 2年) 第3位

山口藍 (医学科 1年) 第5位



静岡県下学生弓道選手権春季大会の様子



東海地区国立大学体育大会の様子

西日本医科学生総合体育大会弓道部門

(16. 8. 16～19)

【男子個人戦】

大竹正紘 (医学科 6 年)	準優勝
佐藤大輝 (医学科 5 年)	第 3 位
鈴木蓮 (医学科 2 年)	第 4 位

西日本看護学生弓道選手権大会 (16. 8. 22～24)

【団体戦】

団体 A (60 射 35 中)	優勝
団体 B (60 射 15 中)	
団体 C (60 射 19 中)	



西日本看護学生弓道選手権大会の様子

全日本医科学生体育大会王座決定戦弓道競技

(16. 8. 27～28)

【団体戦】

団体 (120 射 79 中)	優勝
-----------------	----

【個人戦】

森田裕子 (医学科 5 年)	第 9 位
----------------	-------

【団体戦最多の中賞】

藤田王樹 (医学科 5 年)	20 射 18 中
----------------	-----------



西日本医科学生総合体育大会弓道部門の様子



全日本医科学生体育大会王座決定戦の様子

—昇段審査結果—

**2015年**

**11月 東海連合審査(愛知県・日本ガイシプラザ)**

五段 中井省吾 (医学科 6年)

**2016年**

**2月 静岡県弓道連盟定期審査(静岡市・武道館)**

弐段 鷺見健翔 (医学科 2年)

参段 井澤将太 (医学科 1年)

**3月 東海連合審査(静岡市・武道館)**

五段 石川駿 (医学科 5年)

**3月 西部地区審査(佐久間)**

弐段 未谷翠星 (医学科 1年)

**5月 中部地区審査(静岡市・武道館)**

弐段 大畑美月 (看護学科 2年)

川崎七海 (医学科 2年)

神戸美有希 (医学科 2年)

杉本礼那 (看護学科 2年)

鈴木蓮 (医学科 2年)

多々納拓弥 (医学科 2年)

渡邊萌 (医学科 2年)

参段 藤田英彦 (医学科 5年)

**9月 静岡県弓道連盟定期審査(静岡市・武道館)**

参段 兵藤杜希哉 (医学科 2年)

西恵佳 (医学科 4年)

**10月 西部地区審査(浜松市弓道場)**

初段 小川結衣 (医学科 1年)

金子虎太郎 (看護学科 1年)

杉山和 (医学科 1年)

数藤衣里加 (医学科 1年)

日高のぞみ (医学科 1年)

山口藍 (医学科 1年)

山本麻綺 (医学科 1年)

参段 江澤康平 (医学科 2年)

川崎七海 (医学科 2年)

窪川瑞生 (医学科 2年)

鈴木蓮 (医学科 2年)

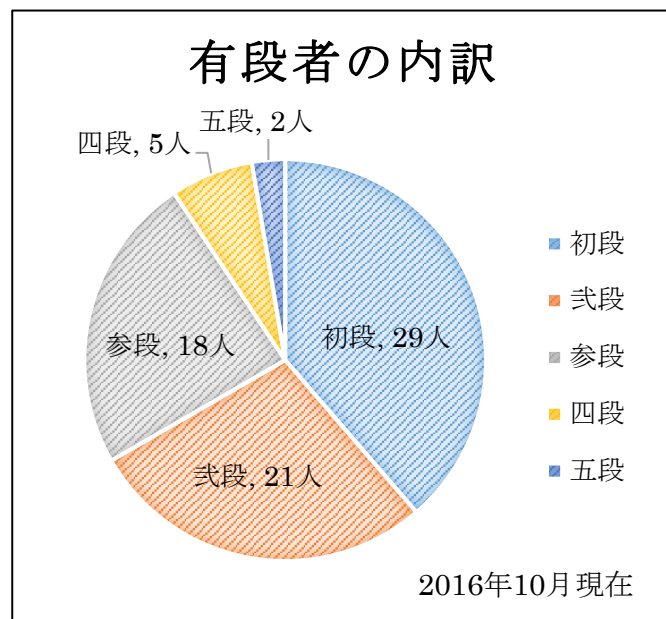
多々納拓弥 (医学科 2年)

四段 村上諒 (看護学科 3年)

学年は全て当時のものを記載しております。  
2016年10月の西部地区審査で、現在の1年生が  
全員初段を取得しました。



西部地区審査の様子



## 第 4 回 OBOG 総会のお知らせ

第 3 回 OBOG 総会では、多くの OB・OG の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

第 2 回 OBOG 総会にて、OBOG 総会を 2 年に 1 度開催することについて「賛成」とのご意見を多く頂きました。つきましては、現在企画段階ですが、2016 年 2～3 月に第 4 回 OBOG 総会を開催いたしたく存じますので、ご調整のほどよろしくお願い申し上げます。

詳細が決まり次第ご連絡いたします。前回同様、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

## OBOG 会会則について

第 3 回 OBOG 総会において、OBOG 会会則が採択されました。会則を同封いたしましたので、ぜひご覧ください。会則についてご意見等ございましたら、下記の「OBOG メーリングリスト」の欄にご住所アドレスにご連絡ください。頂いたご意見をもとに、会則の改定を検討いたしたく存じます。

## 会費・決算報告について

OB・OG の皆様に OBOG 会費納入のご協力をお願い申し上げます。詳細は、同封の別紙をご参照ください。

また、前年度の決算報告について記載した報告書も同封いたしました。多くのご援助、深く感謝申し上げます。

## OBOG メーリングリスト

OBOG 係では、試合結果やコンパのご案内などをメーリングリストにて配信しております。メーリングリストの登録をされていない方は、川口琴子までご連絡ください。登録案内のメールを送信させていただきます。

川口琴子：[kkawaguchi1107@gmail.com](mailto:kkawaguchi1107@gmail.com)

## 編集後記

朝夕の寒気が身にしみるところとなりましたが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

前回の総会では、OBOG 会会則の採択をはじめ、部員と皆様との交流の場をもつことができ、弓道部のますますの発展につながる貴重な機会となったことを、大変嬉しく存じます。次回の第 4 回 OBOG 総会は、創部三十周年を記念して盛大に開催する予定です。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

今年度は、練習の成果が結果として現れず、苦戦する試合も多々ありましたが、最終的には西看大では初優勝、全医体では優勝という成績をおさめ、後輩の活躍も目覚ましく、来年度につながる実のある一年となったように感じられます。また、先日行われた昇段審査では現役部員のほぼ全員が受審し、正射必中を目指して弓道に真剣に取り組む様子がうかがわれました。今後も、様々な面において、「強い」浜医弓道部であり続けられるよう、部員一同努力してまいりたいと思います。

本年度も引き続きご支援ご厚情賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

OBOG 係

川口琴子 山本麻里奈